

輸出入とも前年に引き続き中国がトップ ～ 平成19年 福岡市の外国貿易 ～

平成19年外国貿易年表が、門司税関から5月に公表されましたので、博多港（博多税関支署）と福岡空港（福岡空港税関支署）における貿易の概要を紹介します。【注】

1. 概況

過去最高の貿易額を記録

平成19年の両港における輸出額は2兆3,478億円（対前年増加率24.4%）で、過去最高を記録しました。

港別に見ると、博多港は1兆5,486億円（同36.9%）と、昨年に引き続き大きく増加し、過去最高を記録しました。福岡

空港は7,992億円（同5.8%）となり、ここ5年間では最高額となりました。

両港における輸入額は、1兆4,390億円（同5.6%）と増加しましたが、昨年の対前年増加率（28.4%）に比べると伸び率は小さくなりました。

港別に見ると、博多港は9,193億円（同11.7%）と増加、福岡空港は5,197億円（同△3.6%）と減少しているものの、2年連続5千億円を超えています。貿易収支は、9,088億円の輸出超過となっており、これは前年（5,243億円の輸出超過）の1.7倍です。（図1、表1）

図1 貿易額の推移

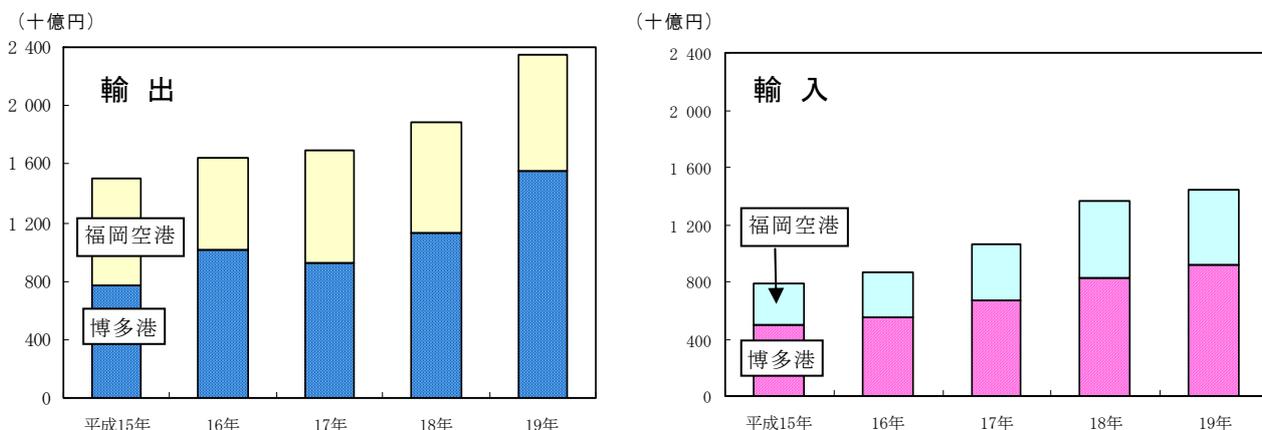


表1 貿易額の推移

(単位：百万円，%)

年	両税関支署計				博多港 (博多税関支署)				福岡空港 (福岡空港税関支署)			
	輸出額	対前年増加率	輸入額	対前年増加率	輸出額	対前年増加率	輸入額	対前年増加率	輸出額	対前年増加率	輸入額	対前年増加率
平成15年	1 496 063	1.4	787 245	0.2	776 344	42.9	501 066	△ 0.3	719 719	△ 22.7	286 179	1.2
16年	1 640 575	9.7	865 786	10.0	1 011 800	30.3	557 089	11.2	628 775	△ 12.6	308 698	7.9
17年	1 692 394	3.2	1 061 284	22.6	922 889	△ 8.8	669 433	20.2	769 505	22.4	391 851	26.9
18年	1 886 592	11.5	1 362 290	28.4	1 130 981	22.5	823 262	23.0	755 610	△ 1.8	539 028	37.6
19年	2 347 763	24.4	1 438 995	5.6	1 548 568	36.9	919 269	11.7	799 195	5.8	519 726	△ 3.6

【注】 文中、表中及び図中の「博多港」とは博多税関支署において、「福岡空港」とは福岡空港税関支署において、それぞれ通関手続きが行われた輸出申告書及び輸入申告書に基づいた数値を表しています。なお、通関手続きが行われた税関と積出港とは必ずしも一致しません。

2. 輸出

自動車の輸出が約2倍に増加

輸出品別に輸出額を見ると、最も多いのは機械類及び輸送用機器類で、1兆5,294億円と輸出総額の65.1%を占めています。このうち5割以上が半導体等電子部品と自動車です。(表2、図2)

博多港では、半導体等電子部品が、対前年増加率77.1%の2,770億円(構成比17.9%)と、昨年最も多かったゴムタイヤ及びチューブを超え、構成比第1位と

なりました。2位の自動車は2,374億円(構成比15.3%)で、対前年増加率93.4%と大幅な伸びを示しています。3位のゴムタイヤ及びチューブも17.1%の伸びで2,295億円(同14.8%)となっています。

福岡空港では半導体等電子部品が3,949億円(構成比49.4%)と全体の約5割を占め、次いで化学製品が984億円(同12.3%)、再輸出品などの特殊取扱品が939億円(同11.7%)となっています。

(表3)

表2 輸出品別輸出額

(単位：百万円，%)

品名	両税関支署計			
	平成19年			平成18年
	輸出額	構成比	対前年増加率	輸出額
総額	2 347 764	100.0	24.4	1 886 592
食料品及び動物	20 816	0.9	29.6	16 058
飲料及びたばこ	1 427	0.1	7.0	1 334
食料に適さない原材料	15 029	0.6	28.9	11 661
鉱物性燃料	288	0.0 △	3.2	297
動植物性油脂	27	0.0 △	33.8	40
化学製品	193 815	8.3	27.5	152 015
原料別製品	286 682	12.2	16.7	245 624
うちゴムタイヤ及びチューブ	231 379	9.9	16.8	198 180
機械類及び輸送用機器類	1 529 405	65.1	23.1	1 242 033
うち半導体等電子部品	671 988	28.6	20.7	556 601
うち自動車	237 412	10.1	93.4	122 763
雑製品	104 766	4.5	20.1	87 213
特殊取扱品	195 509	8.3	50.0	130 317

図2 輸出品目別構成比
(両税関支署計)

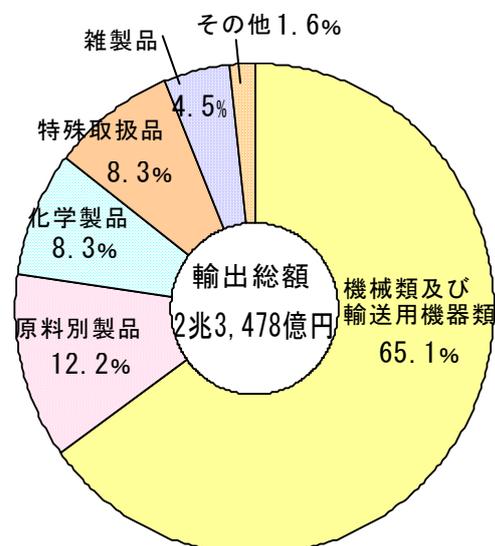


表3 輸出品別輸出額 (税関支署別)

(単位：百万円，%)

品名	博多港 (博多税関支署)				福岡空港 (福岡空港税関支署)			
	平成19年			平成18年	平成19年			平成18年
	輸出額	構成比	対前年増加率	輸出額	輸出額	構成比	対前年増加率	輸出額
総額	1 548 568	100.0	36.9	1 130 981	799 195	100.0	5.8	755 610
食料品及び動物	13 244	0.9	38.4	9 567	7 572	0.9	16.7	6 490
飲料及びたばこ	1 243	0.1	2.6	1 211	184	0.0	49.3	124
食料に適さない原材料	14 703	0.9	27.8	11 509	326	0.0	114.2	152
鉱物性燃料	261	0.0	8.6	240	27	0.0 △	52.5	57
動植物性油脂	17	0.0 △	53.9	38	9	0.0	276.1	2
化学製品	95 409	6.2	37.7	69 275	98 406	12.3	18.9	82 740
原料別製品	272 384	17.6	18.1	230 612	14 298	1.8 △	4.8	15 012
うちゴムタイヤ及びチューブ	229 460	14.8	17.1	195 918	1 918	0.2 △	15.2	2 262
機械類及び輸送用機器類	972 716	62.8	34.9	721 044	556 689	69.7	6.9	520 989
うち半導体等電子部品	277 039	17.9	77.1	156 428	394 949	49.4 △	1.3	400 173
うち自動車	237 412	15.3	93.4	122 763	—	— △	100.0	1
雑製品	76 979	5.0	44.0	53 448	27 787	3.5 △	17.7	33 765
特殊取扱品	101 612	6.6	198.5	34 038	93 897	11.7 △	2.5	96 279

3. 輸入

韓国からの半導体等電子部品が増加

輸入品別に輸入額を見ると、輸出と同様に機械類及び輸送用機器類が6,667億円と最も多く、輸入総額の46.3%を占めています。(表4、図3)

港別で見ると、博多港では、機械類及び輸送用機器類が2,800億円(構成比30.5%)と最も多く、次に昨年1位だった食料品及び動物が2,219億円(構成比24.1%)、雑製品が1,710億円(同18.6%)と続いています。半導体等電子部品は、対前年増加率983.2%と大幅に増加していますがそのほとんどが韓国からの輸入

によるものです。雑製品は、前年に比べ14.5%減少していますが、がん具及び遊戯用具が前年に比べ20倍以上に増えた一方、科学光学機器が3分の1に減少しているためです。

福岡空港では、機械類及び輸送用機器類が3,868億円と最も多く、7割以上を占めています。うち半導体等電子部品だけで2,464億円(同47.4%)と、全体の5割近くを占めていますが、対前年増加率が△16.4%と減少しており、特殊取扱品が大幅に伸びたものの、福岡空港全体の輸入総額は3.6%の減少となっています。

(表5)

表4 輸入品別輸入額 (単位: 百万円, %)

品名	両税関支署計			
	平成19年			平成18年
	輸入額	構成比	対前年増加率	輸入額
総額	1 438 995	100.0	5.6	1 362 290
食料品及び動物	229 974	16.0	2.5	224 467
うち魚介類(生鮮・冷凍)	69 681	4.8	△ 4.8	73 173
飲料及びたばこ	3 906	0.3	9.9	3 553
食料に適さない原材料	70 375	4.9	4.2	67 555
鉱物性燃料	19 152	1.3	△ 0.5	19 242
動植物性油脂	1 022	0.1	△ 2.5	1 048
化学製品	68 087	4.7	11.7	60 969
原料別製品	102 582	7.1	3.8	98 848
機械類及び輸送用機器類	666 747	46.3	7.0	623 258
うち半導体等電子部品	334 895	23.3	10.5	303 022
雑製品	221 228	15.4	△ 9.1	243 279
うち科学光学機器	64 131	4.5	△ 48.2	123 702
うちがん具及び遊戯用具	28 348	2.0	1833.6	1 466
特殊取扱品	55 922	3.9	178.6	20 071

図3 輸入品目別構成比 (両税関支署計)

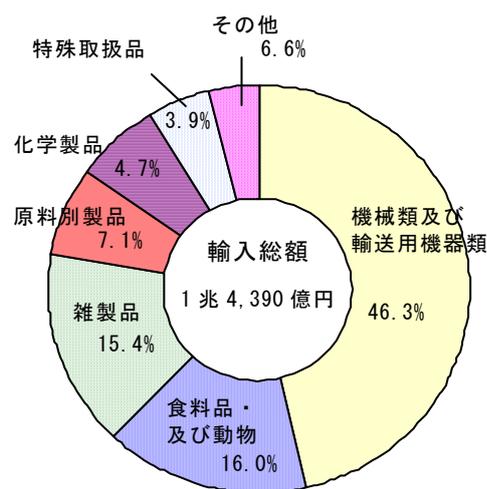


表5 輸入品別輸入額 (税関支署別)

(単位: 百万円, %)

品名	博多港(博多税関支署)				福岡空港(福岡空港税関支署)			
	平成19年			平成18年	平成19年			平成18年
	輸入額	構成比	対前年増加率	輸入額	輸入額	構成比	対前年増加率	輸入額
総額	919 269	100.0	11.7	823 262	519 726	100.0	△ 3.6	539 028
食料品及び動物	221 921	24.1	2.2	217 182	8 054	1.5	10.5	7 285
うち魚介類(生鮮・冷凍)	63 055	6.9	△ 6.3	67 281	6 625	1.3	12.4	5 893
飲料及びたばこ	3 568	0.4	7.8	3 309	338	0.1	39.0	243
食料に適さない原材料	66 403	7.2	5.2	63 139	3 972	0.8	△ 10.1	4 417
鉱物性燃料	18 921	2.1	△ 1.2	19 160	231	0.0	180.8	82
動植物性油脂	1 006	0.1	△ 2.9	1 036	16	0.0	32.9	12
化学製品	53 777	5.9	17.4	45 798	14 310	2.8	△ 5.7	15 171
原料別製品	93 435	10.2	5.2	88 777	9 147	1.8	△ 9.2	10 071
機械類及び輸送用機器類	279 952	30.5	55.0	180 615	386 795	74.4	△ 12.6	442 643
うち半導体等電子部品	88 480	9.6	983.2	8 169	246 416	47.4	△ 16.4	294 853
雑製品	170 999	18.6	△ 14.5	199 940	50 229	9.7	15.9	43 339
うち科学光学機器	40 073	4.4	△ 61.3	103 499	24 059	4.6	19.1	20 202
うちがん具及び遊戯用具	28 230	3.1	2043.6	1 317	118	0.0	△ 20.9	149
特殊取扱品	9 288	1.0	115.6	4 307	46 634	9.0	195.8	15 764

4. 貿易の相手国

輸出入とも中国がトップ

相手国別に輸出入額を見ると、輸出額では、電気機器や自動車の輸出が昨年の2倍以上に伸びた中国が6,759億円、対前年増加率90.7%と大幅に伸び、構成比28.8%で第1位となりました。以下、電気機器の伸びが大きい韓国が3,785億円（構成比16.1%）、アメリカが2,160億円（同9.2%）と続いています。前年と比較すると、中国、韓国が大きく増加しているのに対し、アメリカ、香港は減少しています。

輸入額でも、中国が4,003億円（同27.8%）と最も大きく、以下、韓国が2,952億円（同20.5%）、アメリカが1,966億円

（同13.7%）と続いています。前年と比較すると、半導体等電子部品の輸入が大幅に増加した韓国が、対前年増加率24.9%で1番の伸びを見せており、がん具及び遊戯用具が大きく増加した中国が同14.0%と続いている一方、アメリカと台湾が減少しています。（表6・7）

近年の推移を見ますと、中国への輸出額は4年前（平成15年）の7.6倍に、輸入額は4年前の2.6倍になり、輸出入総額は1兆円を超えました。対中国の貿易収支は2,757億円の輸出超過で、両税関の輸出超過額の3割を占めています。

【資料提供】

門司税関調査部調査統計課

<http://www.customs.go.jp/moji/>

図4 主要相手国の貿易額の推移（両税関支署計）

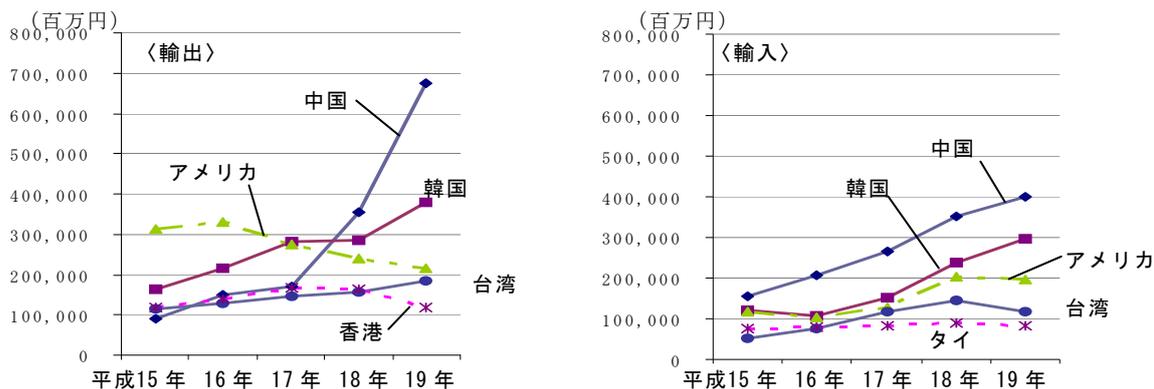


表6 輸出国別輸出額の推移（両税関支署計）

国・地域	平成19年	構成比	対前年増加率	（単位：百万円，%）			
				平成18年	平成17年	平成16年	平成15年
総額	2 347 764	100.0	24.4	1 886 592	1 692 394	1 640 575	1 496 063
中華人民共和国	675 931	28.8	90.7	354 431	170 326	149 723	89 224
大韓民国	378 511	16.1	33.0	284 585	281 631	215 346	164 745
アメリカ合衆国	216 014	9.2	△ 9.8	239 474	276 475	331 613	314 626
台湾	184 928	7.9	19.4	154 861	146 956	129 367	115 800
香港	117 073	5.0	△ 28.6	164 062	168 351	140 076	117 704
その他の	775 306	33.0	12.5	689 179	648 655	674 451	693 964

表7 輸入国別輸入額の推移（両税関支署計）

国・地域	平成19年	構成比	対前年増加率	（単位：百万円，%）			
				平成18年	平成17年	平成16年	平成15年
総額	1 438 995	100.0	5.6	1 362 290	1 061 284	865 786	787 245
中華人民共和国	400 267	27.8	14.0	351 208	267 202	208 350	156 669
大韓民国	295 222	20.5	24.9	236 409	153 019	105 379	121 055
アメリカ合衆国	196 561	13.7	△ 2.9	202 379	129 053	104 225	116 950
台湾	118 309	8.2	△ 19.2	146 418	117 087	75 365	52 255
タイ	83 242	5.8	△ 5.6	88 181	81 786	78 261	76 898
その他の	345 395	24.0	2.3	337 697	313 137	294 206	263 419